

国土数値情報(国・都道府県の機関)

製品仕様書

第 2.0 版

令和 5 年 3 月

国土交通省不動産・建設経済局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2013 年 3 月	地理情報標準プロファイル(JPGIS)ver.2.1 準拠 ・平成 2 年度、平成 18 年度年度作成データに対応
第 1.1 版	2014 年 3 月	整備作業に伴い、一部見直しを実施
第 2.0 版	2023 年 3 月	・属性項目の変更 ・地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 に対応 ・座標系を JGD2011 に変更

目次

1 概覧.....	4
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	4
1.2 目的.....	4
1.3 適用範囲.....	4
1.4 引用規格.....	5
1.5 用語と定義.....	5
1.6 略語.....	5
1.7 参考資料.....	5
2 適用範囲.....	6
2.1 適用範囲識別.....	6
2.2 階層レベル.....	6
3 データ製品識別.....	7
3.1 製品仕様識別.....	7
4 データ内容および構造.....	8
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	8
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	8
4.1.2 施設パッケージ.....	9
4.1.3 国・都道府県の機関パッケージ.....	10
4.1.4 共通パッケージ.....	14
4.2 空間スキーマプロファイル.....	14
4.3 時間スキーマプロファイル.....	14
5 参照系.....	14
5.1 座標参照系.....	14
5.2 時間参照系.....	14
6 データ品質.....	15
7 データ製品配布.....	18
7.1 配布書式情報.....	18
7.2 配布媒体情報.....	18
8 メタデータ.....	19
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名:国土数値情報(国・都道府県の機関)製品仕様書 第2.0版
- 日付:2023年3月24日
- 作成者:国土交通省 不動産・建設経済局 情報活用推進課
- 言語:日本語
- 分野:構造物
- 文書書式:PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の国・都道府県の機関の位置及び種別、名称、住所、管理者等のデータを整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲: 日本全国
- 時間範囲: 本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 令和元年 7 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014「付属書 5(規定)定義」
- 国土交通省不動産・建設経済局情報活用推進課 GIS ホームページ ガイダンス
URL: <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS: Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP: Japan Metadata Profile
- UML: Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報(国・都道府県の機関)製品仕様書第 2.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称
国土数値情報(国・都道府県の機関)データ

- 日付
2023年3月24日

- 問合せ先
国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>

- 地理記述
全国

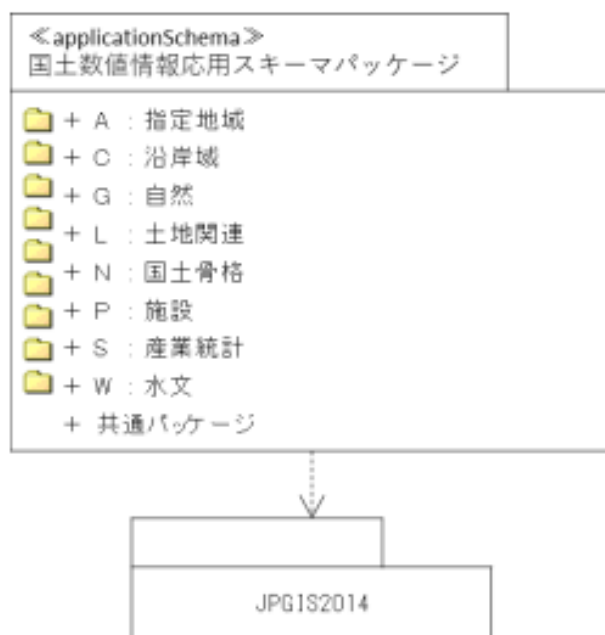
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

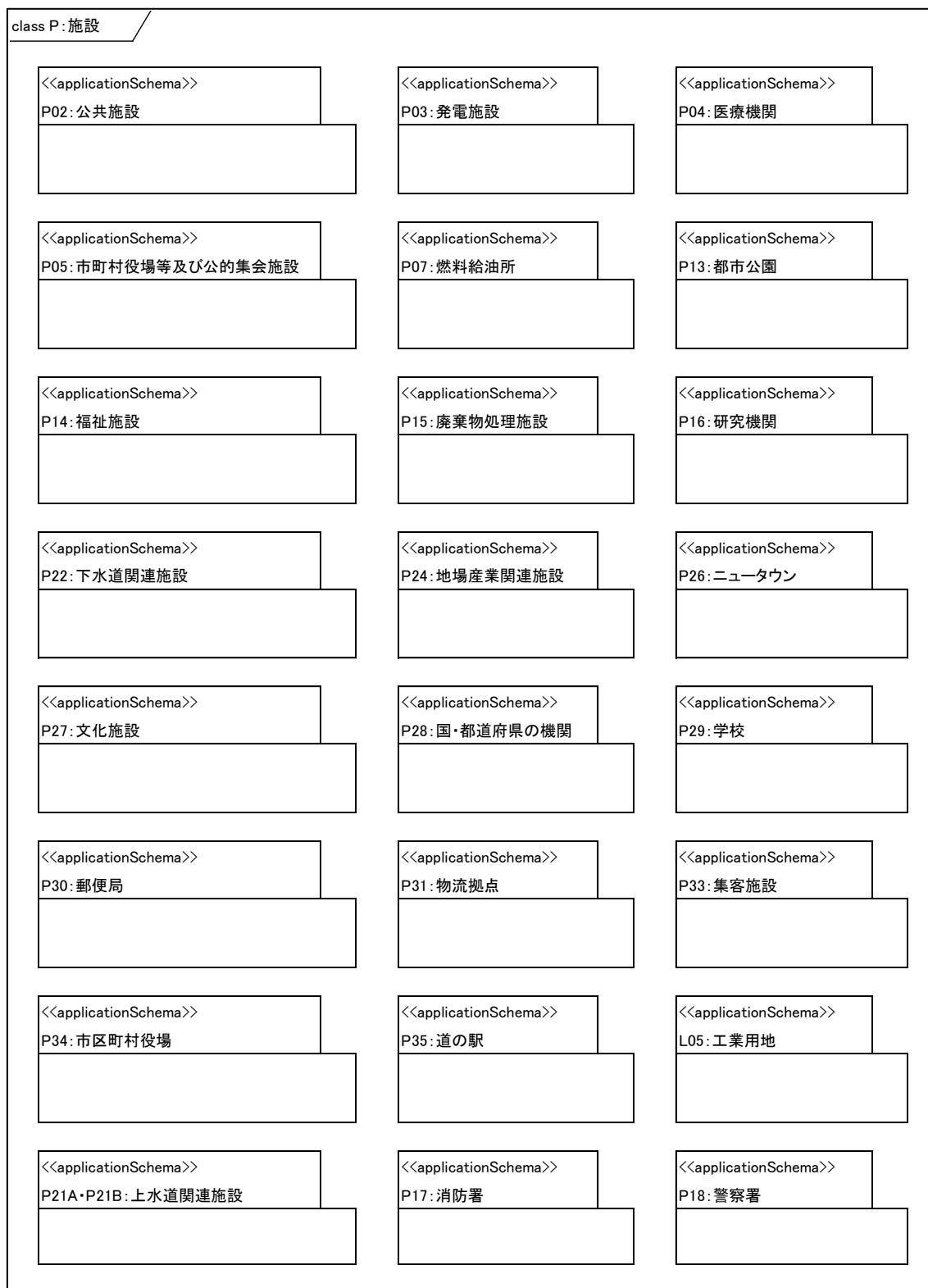
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 施設パッケージ

このパッケージは、施設に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 国・都道府県の機関パッケージ

このパッケージは、国・都道府県の機関に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図

<<feature Type>> 国・都道府県の機関
+ 地点:GM_Point
+ 行政コード:行政コード
+ 機関分類:機関分類コード
+ 名称:CharacterString
+ 所在地[0..1]:CharacterString
+ 管理者コード:管理者コード

<<codeList>> 共通パッケージ:行政コード

<<codeList>> 共通パッケージ:管理者コード
+ 国 = 1
+ 都道府県 = 2
+ 市区町村 = 3
+ 民間 = 4
+ その他 = 5

<<codeList>> 国・都道府県の機関コード
+ 美術館：03001
+ 資料館，記念館，博物館，科学館：03002
+ 図書館：03003
+ 水族館：03004
+ 動植物園：03005
+ 公共企業体・政府関係機関：09001
+ 独立行政法人・大学共同利用機関法人：09002
+ 国会：11100
+ 会計検査院：11101
+ 人事院：11102
+ 内閣法制局：11103
+ 内閣府：11110
+ 内閣官房：11111
+ 宮内庁：11112
+ 金融庁：11113
+ 公正取引委員会：11114
+ 消費者庁：11115
+ 復興庁：11116
+ 国家公安委員会：11120
+ 警察庁：11121
+ 防衛省：11132
+ 防衛施設庁：11131
+ 総務省：11140
+ 消防庁：11142
+ 公害等調整委員会：11144
+ 法務省：11150
+ 検察庁：11151
+ 公安調査庁：11152
+ 公安審査委員会：11153
+ 外務省：11160
+ 外国公館：11161
+ 財務省：11170
+ 国税庁：11171
+ 文部科学省：11180
+ 文化庁：11181
+ 厚生労働省：11190
+ 社会保険庁：11191
+ 中央労働委員会：11192
+ 農林水産省：11200
+ 林野庁：11202
+ 水産庁：11203
+ 経済産業省：11210
+ 資源エネルギー庁：11211
+ 特許庁：11212
+ 中小企業庁：11213
+ 国土交通省：11220
+ 海上保安庁：11221
+ 海難審判庁：11222
+ 気象庁：11223
+ 船員労働委員会：11224
+ 観光庁：11225
+ 運輸安全委員会：11226
+ 海難審判所：11227
+ 環境省：11230
+ 原子力規制委員会：11231
+ 裁判所：11240
+ 都道府県庁：12001
+ 都道府県の出先機関：12005
+ 保健所：13001

4.1.3.2 応用スキーマ文書

国・都道府県の機関

全国の国・都道府県の機関(文化施設を除く)及び, 地域保健法に基づき設置された保健所。

上位クラス:

抽象/具象区分:具象

属性

位置:GM_Point

国・都道府県の機関の位置。

行政区域コード:行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる, 国・都道府県の機関が存在する行政区を特定するためのコード。JIS 規格(JIS X 0401, JIS X 0402)に準拠する。

■ 定義域

JIS 規格が定める 5 桁のコード値。

5byte 以内

国・都道府県の機関分類:国・都道府県の機関コード

国・都道府県の機関の種類を特定するためのコード。

5byte 以内

■ 定義域

「国・都道府県の機関コード」がとりうる値。

コード	対応する内容	コード	対応する内容
03001	美術館	11160	外務省
03002	資料館, 記念館, 博物館, 科学館	11161	外国公館
03003	図書館	11170	財務省
03004	水族館	11171	国税庁
03005	動植物園	11180	文部科学省
09001	公共企業体・政府関係機関	11181	文化庁
09002	独立行政法人・大学共同利用機関法人	11190	厚生労働省
11100	国会	11191	社会保険庁
11101	会計検査院	11192	中央労働委員会
11102	人事院	11200	農林水産省
11103	内閣法制局	11202	林野庁
11110	内閣府	11203	水産庁
11111	内閣官房	11210	経済産業省
11112	宮内庁	11211	資源エネルギー庁
11113	金融庁	11212	特許庁
11114	公正取引委員会	11213	中小企業庁
11115	消費者庁	11220	国土交通省
11116	復興庁	11221	海上保安庁
11120	国家公安委員会	11222	海難審判庁
11121	警察庁	11223	気象庁
11132	防衛省	11224	船員労働委員会
11131	防衛施設庁	11225	観光庁
11140	総務省	11226	運輸安全委員会
11142	消防庁	11227	海難審判所
11144	公害等調整委員会	11230	環境省
11150	法務省	11231	原子力規制委員会
11151	検察庁	11240	裁判所
11152	公安調査庁	12001	都道府県庁
11153	公安審査委員会	12005	都道府県の出先機関
		13001	保健所

名称:CharacterString

国・都道府県の機関の正式名称。

100byte 以内

所在地:CharacterString

国・都道府県の機関が所在する住所情報を格納する。(例えば, ○○市□□町 1-1-1)。

100byte 以内

管理者:管理者コード

国・都道府県の機関の管理者を区分するためのコード。

■ 定義域

「管理者コード」がとりうる値。

コード	対応する内容
1	国
2	都道府県
3	市区町村
4	民間
0	その他

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子:JGD2011/(B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子:GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	国・都道府県の機関
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ(エラー)の割合(誤率)を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 ・ データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率(%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する資料(例: 数値地図 25000(地名・公共施設), 便覧, 総覧, またはこれらを用い作成した資料等)とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ(地物インスタンス)を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率 = 0% であれば“合格” ➢ 誤率 > 0% であれば“不合格”
適合品質水準	過剰なデータの割合: 0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	国・都道府県の機関
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ(エラー)の割合(誤率)を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率(%) = (漏れのデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する参考資料, またはこれらを用い作成した資料等とする。 ・ 地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ(地物インスタンス)を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率 = 0% であれば“合格” ➢ 誤率 > 0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合: 0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式(フォーマット)が、整形式となっていない箇所(XML 文書の構文として正しくない箇所)の割合(誤率)を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書(Well-Formed XML)でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法(構造)に適合しているか、検査プログラムによって評価する。 一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合:0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合(誤率)を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書(Valid XML document)でなければならない。 XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンスの型(地物型)が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。 ■空間スキーマプロファイルに関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合:0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合(誤率)を計算する。 以下の場合エラーとする <ul style="list-style-type: none"> 空間属性及び時間属性が、適用範囲内に含まれない場合。 コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。 誤率(%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数/データ集合内の地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合:0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	国・都道府県の機関
データ品質評価尺度	<p>データ集合の位置が、位置取得に用いた参照データ上の当該施設の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合(誤率)を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。※参照データ上に該当機関がない場合、機関の所在情報の位置(機関のホームページにて確認)とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査対象のデータの位置が参照データの当該施設の範囲に含まれない場合。 <p>誤率(%) = (位置のエラー数/参照データに含まれるデータの総数)×100</p>
データ品質評価手法	<p>位置取得を行ったデータ集合に対し、全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、監督員が指定する資料(例:国土地理院図等)とする。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 誤率=0% であれば“合格” ➢ 誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	位置正確度のエラーの割合:0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	国・都道府県の機関
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データとの一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス(エラー)の割合(誤率)を計算する。</p> <p>次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地物属性“行政区域コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“国・都道府県の機関分類コード”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“名称”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“所在地”の内容が正しくない場合。 ・ 地物属性“管理者コード”の内容が正しくない場合。 <p>誤率(%) = (地物属性のエラー数/検査した地物属性の総数)×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参照データは、原典資料または監督員が指定する参考資料、またはこれらを用い作成した資料等とする。 ・ 地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ(地物インスタンス)を表示又は出力する。 ・ データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・ 計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ “適合品質水準≧誤率”であれば“合格” ➢ “適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合:0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS2014 付属書 12(規定)地理マーク付け言語(GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS2014(GML)付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報(国・都道府県の機関)応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間:<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞:ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国及び都道府県別

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス(JPGIS 準拠データ)

URL:<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは, JMP2.0 を採用する。

国土数値情報(国・都道府県の機関)製品仕様書第 2.0 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名	
施設	P28 国・都道府県の機関	国・都道府県の機関		GovernmentalAgency	Governmental Agency	
			位置	GM Point	position	position
			行政区域コード	行政コード	administrativeArea	administrative area
			国・都道府県の機関分類	国・都道府県の機関分類コード	type	type
			名称	CharacterString	name	name
			所在地	CharacterString	address	address
			管理者コード	管理者コード	administrativeCode	administrative code

→

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
elementFormDefault="qualified" version="4.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>国・都道府県の機関</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_
19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="GovernmentalAgency"
type="ksj:GovernmentalAgencyType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="GovernmentalAgencyType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>国・都道府県の機関</xsd:documentation>
```

```

</xsd:annotation>
<xsd:complexContent>
  <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>位置</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="administrativeArea" type="gml:CodeType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>行政区域コード</xsd:documentation>
          <xsd:appinfo>
            <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace
          >
          </xsd:appinfo>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>

      <xsd:element name="type" type="gml:CodeType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>国・都道府県の機関分類</xsd:documentation>
          <xsd:appinfo>
            <gml:defaultCodeSpace>GovernmentalAgencyCode.xml</gml:defaultCodeSpa
          ce>
          </xsd:appinfo>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      </xsd:annotation>
    </xsd:sequence>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="name" type="xsd:string">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>名称</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="address" type="xsd:string" minOccurs="0">

```

```

    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="administrativeCode" type="gml:CodeType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>管理者コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>

<gml:defaultCodeSpace>AdministrativeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="GovernmentalAgencyPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:GovernmentalAgency"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="GovernmentalAgencyMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:GovernmentalAgency"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```